

寝屋川市社会福祉協議会の職員対象に『避難所運営訓練HUG』を実施しました！

日時：2017年11月6日（月）18：00～20：00
場所：寝屋川市保健福祉センター 多目的室
参加者：寝屋川市社会福祉協議会の皆さん（18名）
7班構成 1班8名（参加者6名＋ファシリテーター2名）
ファシリテーター：建築学科生16名＋大学院生1名＋教員1名（計18名）

今回の見どころ

寝屋川市社会福祉協議会職員対象の避難所運営訓練HUG(ハグ)を実施します。HUG(ハグ)とは、静岡県が開発した災害訓練で避難所(Hinannzyo)運営(Unei)ゲーム(Gemu)の頭文字を取ったものです。災害が起きた際に避難所をどのように運営することが出来るかを図面上で訓練します。今回のHUGでは3回生が初めて主体となり準備からファシリテーターまで行います。社会福祉協議会の皆さんは初めてのHUGということもあり、避難所運営について多くのことを学んでいただくために何が出来るかを準備段階で3回生で考えました。

プログラム実施風景



HUGの進め方について説明しています。真剣な表情で聞いてくれています。



今回使用する図面を皆さんで確認するため図面の指さし確認を行っています。



ゲームが開始されると、どのグループも避難者の配置に四苦八苦していました。



ゲーム中盤、グループ内で役割を決め、スムーズに進めるようになっていきました。



「物品が届く」等の指示カードが溜まっているグループもあり、対応が非常に難しそうでした。



最後に池内先生が講評を行い、本日の訓練を終了しました。

プログラムの実施結果

今回は、私たち3回生が主体となり、HUGを実施しました。私たちだけでHUGをスムーズに進めることが出来るか心配しましたが、社会福祉協議会の方々のチームワークに助けられ円滑に進めることが出来ました。今回の訓練で、「自分達が災害時に地域の人々に対して何が出来るのか、を考えさせられた」との感想も頂き、社会福祉協議会の地域における役割を感じて頂けたように思います。今回のHUGを通じて、準備段階でチームワークが悪かったり、研修中はファシリテーターの声が小さかったり、時間配分が出来なかったりと反省点や課題が見つかりました。特に「時間配分」については、準備段階から意識し練習を行う等、チームで徹底したいと思います。

参加していただいた寝屋川市社会福祉協議会の皆様、ありがとうございました。皆様に心から感謝申し上げます。